

- 小笠原諸島における建設作業の手引き -

この手引きは、かけがえのない自然を持つ小笠原諸島で、建設作業を行うとき知っておきたいことをまとめたものです。

環境配慮指針を適切に実行するため、本手引きの内容を理解の上、建設作業を実施してください。

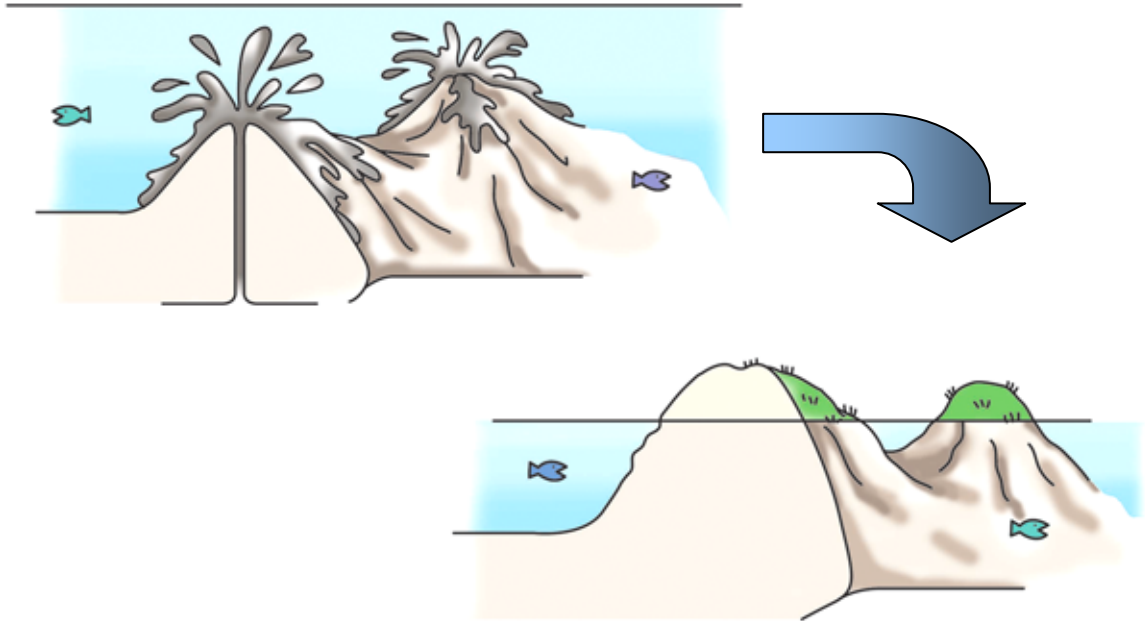
東京都小笠原支庁

小笠原ってどんなところ

特別な自然がある小笠原についてまとめてみました。

父島・母島・^{むこしま} 聳島列島のなりたち

父島・母島・聳島列島は、約4800～4400万年前に海底火山の活動とその後の隆起により誕生しました。



小笠原諸島は、一度も大陸と陸つづきになったことがない海洋島です。

小笠原の自然

もともとの小笠原の生物は、海流や風や鳥に運ばれ、偶然島にたどりつき、生き残ったものの子孫です。



小笠原にたどりついた生物は、長い時間をかけて独自の進化をとげました。

小笠原の固有種にはどんなものがあるの

小笠原で独自の進化をとげた生物は、小笠原にしかないものです。

これらは、小笠原の固有種といわれています。



ムニンノボタン



オガサワラグワ



ムニンツツジ



オガサワラオオコウモリ



アカガシラカラスバト



シマアカネ



カタマイマイ類

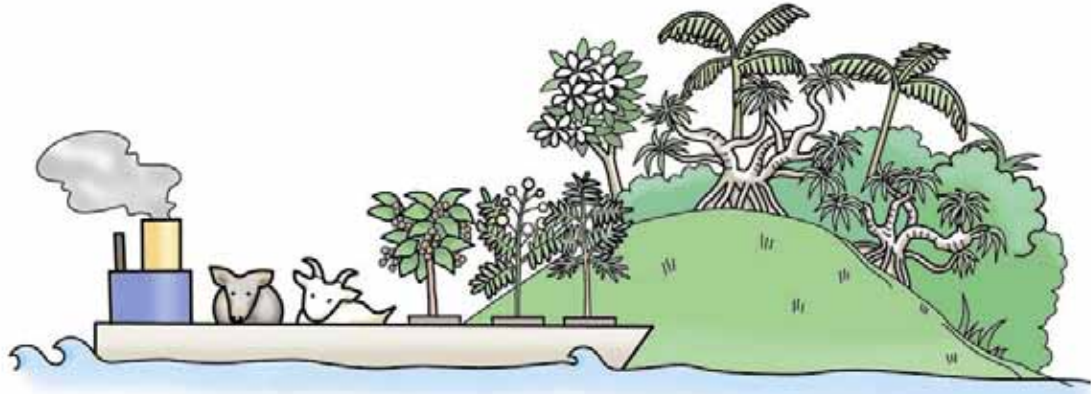
小笠原は固有種が多く生息し、植物種の約4割、カタツムリ類の約9割が固有種です。

小笠原の固有種の中には、天然記念物などに指定されている貴重なものや、絶滅が心配されているものがあります。

絶滅してしまったら、もう2度と取りもどせません。

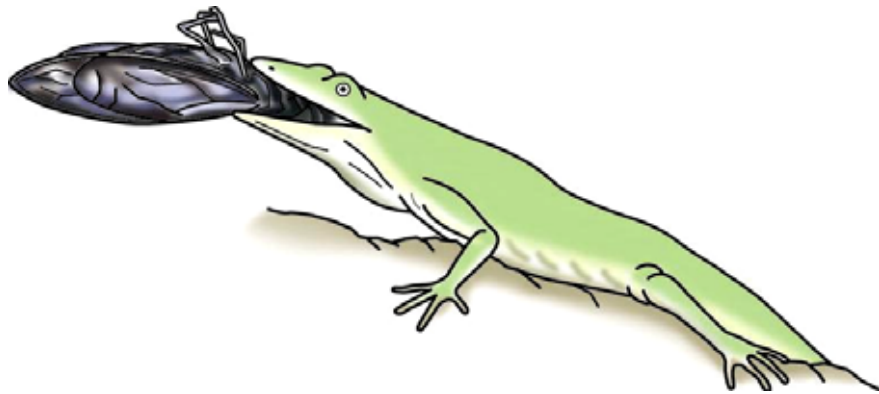
外来種ってなに

小笠原で人間が生活するようになって、新たな生きものが小笠原に持ちこまれました。これらは、外来種といわれています。



小笠原の自然はとても弱いもの

小笠原の自然は、海洋島独特の微妙なバランスの上になりたっています。



オガサワラゼミ（固有種）を捕食するグリーンアノール（外来種）

小笠原の固有種は、他の生きものと競争したことはありません。

特殊な小笠原の自然は、人間の活動や、外来などに大きく影響されます。

自然を大切にしよう

ちょっとした心づかいで、大切な小笠原の自然を守ることができます。

固有種を大切にしよう

工事区域に生育している固有種はできるだけ保護しよう

伐採を避けることはできないか。

移植することはできないか。



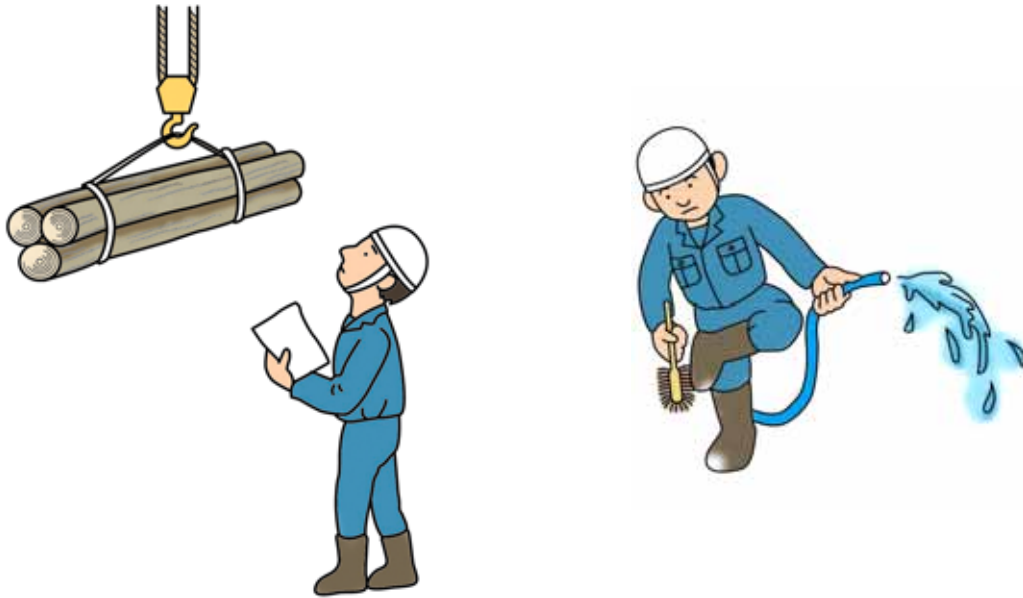
工事範囲に固有種がないか確認し監督員に報告しよう



外来種を入れないように、また、出さないようにしよう

小笠原の自然は、外来種に対し大変弱いものです。

作業着や靴底、内地や他の島からの資材等に、付着物がないか確認し取り除こう。



他の島や内地への荷物に、付着物がないか確認し取り除こう。



グリーンアノール



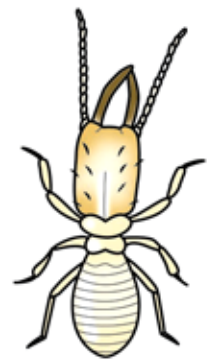
ニューギニアヤリガタリクウズムシ



ギンネム



シンクリノイガ



イエシロアリ

木や草花を大切にしよう

工事に伴う立木伐採は、最小限の範囲にしよう

立木伐採は、環境に与える影響が大きいので、最小限の範囲にしよう。



工事区域のまわりの木を傷つけないようにしよう

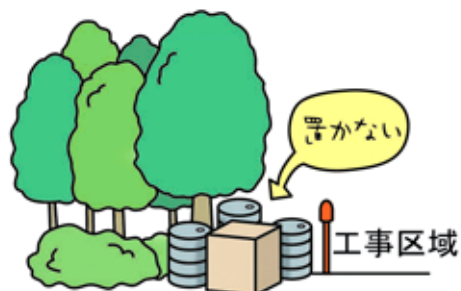
伐採木や倒れた木を引きずり出すときには、まわりの木や草花を傷つけないよう注意しよう。



工事区域外には、ものを置かないようにしよう

工事区域外に立ち入らないようにしよう
工事区域外の草花や幼木を踏みつけないようにしよう

木や草花を折ったり、採ったりしないようにしよう



土や水を大切にしよう

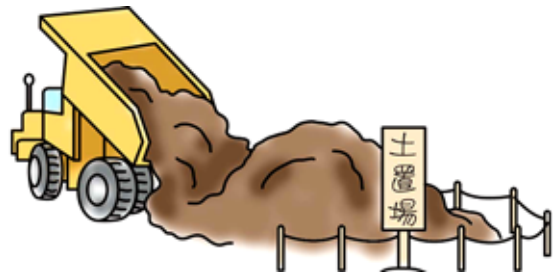
表土を大切にしよう

工事現場のまわりの林内をむやみに踏みあらしたり、
表土をいためないようにしよう。



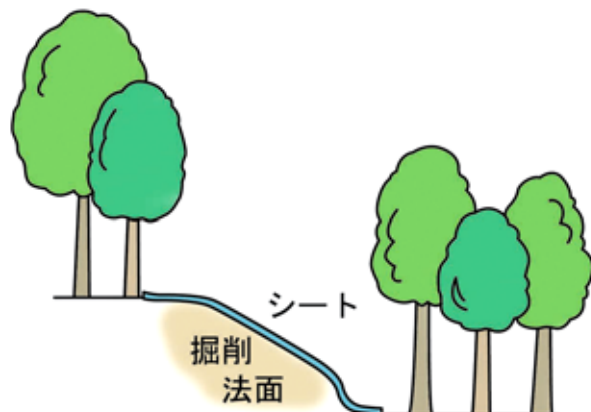
工事で発生する土砂は決められた場所へ運ぼう

決められた場所以外に置いたら
いけない。



工事現場の土砂が、まわりへ流れ出ないように注意しよう

掘削法面をシート等でおおう



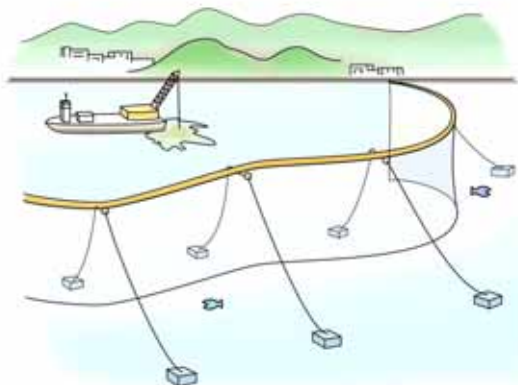
海を大切にしよう

海をきれいにしよう

海面のゴミは積極的に拾おう。



汚濁防止膜を使ってニゴリ等の
拡散を防ごう。



工事の前に十分に海底調査を行おう。



生きものを大切にしよう

鳥やオオコウモリ、ウミガメ等を大切にしよう

繁殖地や巣がないか確認し監督員に報告しよう。



不必要な夜間照明はやめよう。



オカヤドカリや虫・魚をいたわろう

沢や水たまりは、オカヤドカリ、魚、水生昆虫などにとって大切な生活の場です。
水脈の分断や土砂の流入などがないように注意しよう。



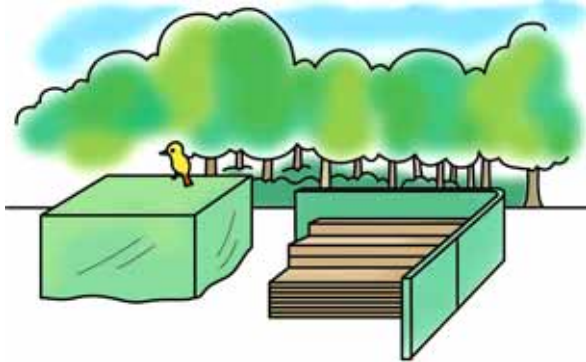
雑排水、コンクリートの洗浄水、廃油などは川へ流さず、決められた場所方法で処理しよう。

その他のこころがけ

工事現場はきれいにしよう

仮施設や資材置き場は、目立たない色や形にしよう

色や形を目立たないように

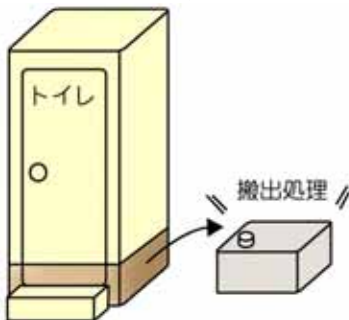


資材や機材は常に整とんし、できるだけフェンスやカバーで囲もう。フェンスやカバーは、目立たない色にしよう。

ゴミは持ち帰ろう。



用便は決められた場所でしょう。
また、たれ流しはやめてタンク式で搬出処理しよう。



たき火は、厳禁



水をまくなど、ホコリの防止に努めよう。



タバコは決められた場所で吸い、
すいがらは決められた場所に捨てよう。



移動車両は乗り合いにしよう。

